安永さん「感謝忘れずに」

稲敷・桜川小

稲敷市柏木の同市立桜川小（細谷順一郎校長）で8日、日本サッカー協会の「夢の教室」が開かれた。元Jリーガーで横浜マリノスや清水エスパルスなどで活躍した安永聡太郎さん(47)が〝夢先生〟として招かれ「周囲へ感謝の気持ちを忘れず、自分自身に『できる』と期待して」などと呼びかけた。

夢に向かって努力する大切さを感じてもらおうと、同小PTA（井川一幸会長）が主催。「ゲーム」「トーク」の2部構成で実施され、ゲームでは、ボールを使った鬼ごっこのような遊びを体験。安永さんを中心に、皆で作戦を練ったり、声をかけ合ったりしながら交流を深めた。

トークでは、安永さんが自分の歩みを紹介。山口県宇部市で生まれ育ち、小学3年でサッカーと出合ったこと、6年の時にプロ選手を目標に掲げて努力を重ね、静岡県内の強豪高校で6度の日本一に輝いたこと、夢をかなえてプロ入りしたことなどを振り返った。

華やかな経歴を語る一方で、練習環境の厳しさから小学校時代に一度クラブを辞めたことや、高校時代のチームメートにきつく当たったことなど、挫折や失敗の経験も明かした。その上で「つらく苦しい練習でも、その先にはうまくなる喜びや楽しみがある。自分自身に期待し、周囲への感謝や思いやりを大事にしてほしい」と述べた。

児童とゲームで交流する安永聡太郎さん＝稲敷市柏木

元Jリーガー 児童と交流、夢を応援

児童らが将来の夢を考える時間も設けられ、スポーツ選手を目指している坂本結菜さん(12)は「周囲に感謝して前に進んでいくという話が心に残った。夢に向かって挑戦したい」と笑顔。テニスが上達したいという小林啓太君(12)は「苦しい時も、その先には楽しいことが待っていると思えば、何でもできると思えた」と話した。

（松原芙美）

落語 軽快な話術に笑い

茨城高・中 生徒1200人鑑賞

水戸

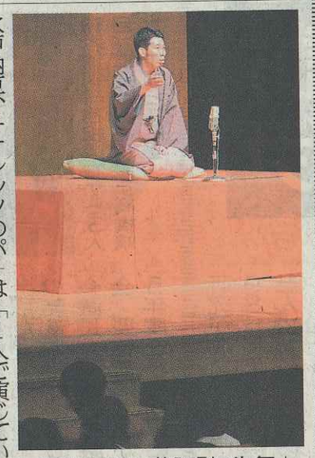
日本の伝統芸能に親しんでもらおうと、茨城高校・中学校（水戸市八幡町）は9日、同市千波町のザ・ヒロサワ・シティ会館で学校寄席を開いた。生徒約1200人は、落語家3人による身ぶり手ぶりを交えた軽快な話術に引き込まれ、会場は笑いに包まれた。同校が毎年実施する芸術鑑賞会の一環。

学校寄席では落語講座として、三遊亭兼太郎さんと、三遊亭まんとさんが「ドンドンどんと来い」と聞こえる一番太鼓や、「出てけ出てけ」と聞こえる追い出しなど、太鼓打ちをクイズ形式で実演しながら紹介。手拭い、扇子を使ったそばを食べる所作なども披露した。

落語は、まんとさんが与太郎と新居を建てた叔父とのやりとりを描いた「牛ほめ」、兼太郎さんが和尚が知ったかぶりをして失敗する「転失気」、水戸みやぎん寄席などで高座に上がる古今亭菊之丞さんはトリを務め、「死神」を披露。菊之丞さんは物語に登場する呪文に「アジャラカモクレン水戸納豆、テケレッツのパー」や、「水戸の中高生の寿命だ」という死神のせりふなど、噺をアレンジして、生徒たちを楽しませた。

2年の加瀬煌侑さん(17)は「1人で演じているように見えず、実際に何人もいるようで面白かった。みやぎん寄席にも行ってみたい」と笑顔を見せた。

（戸祭将太）



生徒たちに落語「転失気」を披露する三遊亭兼太郎さん＝水戸市千波町

いばらきワイド

イルミネーションに彩られたかわち水と緑のふれあい公園＝河内町長竿

河内 イルミ50万個点灯

「希望の明かり」四季表現

河内町長竿のかわち水と緑のふれあい公園でイルミネーションが始まり、50万個もの電球が会場を照らしている。来年2月18日まで。午後5～9時。園内を四つのエリアに分け、それぞれ春夏秋冬を表現している。

3日に開かれた点灯式で野沢良治町長は「県内でも1、2位を争う規模になった。希望の明かりになれば」と期待を込めた。

イルミネーションではフォトコンテストも企画。応募用紙に作品を添え、町まちづくり推進課に持参するか郵送する。用紙は町役場など公共施設に置く。最優秀賞1点と優秀賞2点を決め、地元特産品を贈る。締め切りは来年2月28日（当日消印有効）。問い合わせは同課☎0297(84)2111。

（鈴木剛史）

演劇の楽しさ知って

水戸芸術館 水戸の児童ら招待

子どもたちに舞台の楽しさを知ってもらおうと、水戸市五軒町の水戸芸術館は「小学生のための演劇鑑賞会」を開いている。9日は同市立小6校の児童らがACM劇場に招かれ、躍動感あふれる演劇を楽しんだ。

鑑賞会は市内の小学校に通う4年生が対象。童話「白雪姫」のその後を、7人のこびとに焦点を当てた「リトルセブンの冒険～白雪姫去りし後の〝こびとたち〟の物語～」が上演された。劇団「柿喰う客」主宰で演出家の中屋敷法仁さんが脚色・演出を務めた。

俳優のコミカルな動きが児童らを引き込み、緊迫した場面になると、真剣な表情で掛け合いを見つめていた。石川小4年、衛藤颯汰朗君(9)は「場面ごとにくるくる表情が変わって面白かった」と話し、同、須藤

ガルパン切手きょう発売

日本郵便関東支社 大洗町長に贈呈

大洗町の国井豊町長（中央左）に切手を贈る日本郵便関東支社の小松直之県中部地区連絡会地区統括局長（同右）＝大洗町磯浜町

日本郵便関東支社（さいたま市）は大洗町を舞台にしたアニメ「ガールズ&パンツァー」とコラボしたオリジナルフレーム切手「ガールズ&パンツァー最終章 大洗郵便局Ver.ポスポス大作戦」を発売する。同社関係者8人が14日、同町磯浜町の大洗町役場に国井豊町長を表敬訪問し、切手を贈呈した。

切手は大洗郵便局（同所）を背景に、キャラクター5人が日本郵便の制服を着用し、ポーズを取っている。

フレーム切手1シート（84円切手5枚）と切手台紙1部、クリアファイル1枚、大型ポストカード5枚がセットとなり、3千円。計3千セットを販売する。同町はじめ水戸、ひたちなか、笠間など県央地域8市町村の計101局で16日に販売を開始。19日に同町で開かれる大洗あんこう祭で

取手・龍ケ崎支局 ☎0297(72
常総支局 ☎0297(38
筑西支社 ☎0296(22
下妻支局 ☎0296(44